



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

年3回発行・第78号  
2017.11月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・土砂災害への技術支援 ・研究成果の公表等 ・研究施設の紹介 ・ニュートンのリンゴの木

## 土砂災害への技術支援

10月23日に、新潟県糸魚川市真木地内で台風21号の豪雨により土砂災害が発生しました。この土砂災害は2級河川海川の左支溪で発生したものであり、主たる発生源は、谷頭部付近での崩壊です。その規模は、幅約50m、長さ約100m～150m、滑落崖高さ約10～20mです。崩壊した土砂は谷を流下し、市道を寸断して海川を閉塞しました。当センターでは、新潟県の依頼により10月25日に石田所長と金澤、丸山、石川が新潟県及び北陸地方整備局の各職員と合同で現地調査を行い、斜面の危険度や応急対応等に関する技術支援を行いました。



## 研究成果の公表等

### ■地すべり学会

「平成29年度（公社）日本地すべり学会第56回研究発表会」が、8月23～25日に長野市において開催されました。当センターからは、石田所長が富山県で発生した地すべりの事例報告として「南砺市利賀村で発生した地すべりの特徴と移動体の土質性状について」の口頭発表を行いました。また、ポスター発表では、金澤が「多変量解析を用いた地下水流動の推定：月山志津地すべりの事例」を、丸山が「地下水排除施設集水管の閉塞防止方法に関する検討(2)」を、それぞれ発表しました。



### ■砂防学会九州豪雨災害調査

8月19～20日に、砂防学会による7月に発生した九州北部の豪雨により発生した土砂災害の第2次緊急調査が行われました。この調査は現在の被害状況把握を行い、災害原因の解明ならびに被害の拡大状況、今後の対策等を検討するためのものであり、当センターからは金澤が参加しました。



### ■農業農村工学会

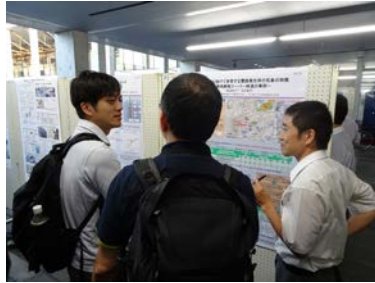
「平成29年度農業農村工学会全国大会」が、8月30～31日に神奈川県藤沢市において開催されました。当センターからは、



丸山が企画セッション「地すべり防止施設の維持管理と更新に関する技術課題」に招待され、「集水井の維持管理に関する土木分野の動向」と題して講演を行いました。この講演では、当センターで開発中の集水井内観察カメラと集水管閉塞防止器について紹介しました。

### ■雪氷研究大会

雪氷研究大会(2017・十日町)が、9月24～27日に新潟県十日町市で開催されました。この研究発表会では、石田所長が「連続体モデルを用いた雪崩到達距離に関する検証事例—2000年2月5日に長野県白馬村で発生した乾雪表層雪崩を対象として—」を、原田が「樹林帯をすり抜けて多発する雪崩発生時の気象の特徴—上高地乗鞍スーパー林道の事例—」と「雪崩対策施設点検の手引き案の作成—その1：基本構成と今後の取組—」を、金澤が「融雪期における地すべり地内の地下水位変動」を、それぞれ発表しました。



長野県雪対策協議会(会長：飯山市長)からの依頼を受け、9月28日に当センターの石田所長が「融雪期の土砂災害」と題して講演を行いました。この中では、5月に飯山市で発生した地すべり・土石流に関する現地調査結果のほか、全国における融雪地すべりの発生事例や発生特性、地形と地すべりの関係などについて紹介しました。

### ■長野県雪対策協議会

長野県雪対策協議会(会長：飯山市長)からの依頼を受け、9月28日に当センターの石田所長が「融雪期の土砂災害」と題して講演を行いました。この中では、5月に飯山市で発生した地すべり・土石流に関する現地調査結果のほか、全国における融雪地すべりの発生事例や発生特性、地形と地すべりの関係などについて紹介しました。



全国地すべりがけ崩れ対策協議会第71回研究発表大会が、10月19～20日に静岡市で開催されました。この研究発表会は、都道府県の職員が実施している地すべり、がけ崩れ、雪崩の災害対策事業について報告し合い、技術力の向上を図るものです。当センターからは、金澤が地すべり防止施設の維持管理技術として当センターで開発中の「集水井内観察カメラを用いた集水井点検手法」について紹介しました。

### ■全国地すべりがけ崩れ対策協議会

雪崩対策施設現地見学会が、11月3日に、新潟県糸魚川地域振興局が主催する雪崩対策施設現地見学会が柵口地区において開催されました。当センターからは石田所長が参加し、当センター



の柵口雪崩観測ステーションを拠点とした雪崩対策研究に関する取り組みを紹介しました。

### ■地すべり学会中部支部シンポジウム

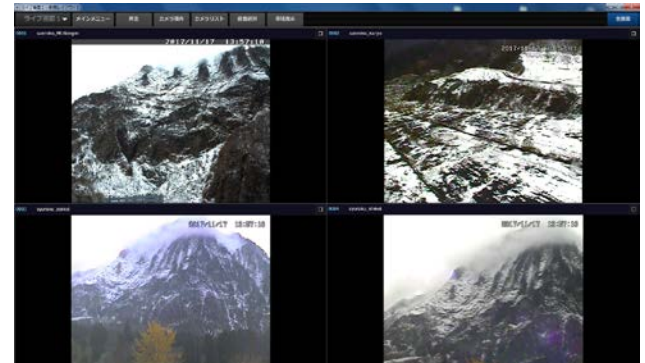
11月17日に、長野市で地すべり学会中部支部のシンポジウム「飯山市井出川流域で発生した大規模崩壊と土石流～2017年5月井出川で何が起こったのか！」が開催されました。このシンポジウムでは、当センターの石田所長が井出川合同調査団として、「井出川合同調査団上流大規模崩壊調査班報告」と題して調査報告を行いました。なお、この災害については、当センターの石田所長と金澤が合同調査団との連名で執筆した災害報告「平成29年5月長野県飯山市井出川流域で発生した大規模崩壊と土石流」として、砂防学会誌Vol.70、No.3、pp41-50に掲載されています。



研究施設の紹介  
当センターでは、平成12年度から新潟県糸魚川市柵口地区において、雪崩対策研究のための雪崩の動画撮影および気象観測を実施しています。積雪期を前に、動画撮影用カメラの増設と老朽化した機器の更新作業を終えました。観測データは、雪崩の規模推定や雪崩発生危険度評価手法の研究に活用していきます。写真は、動画撮影用カメラの映像です。なお、過年度に撮影した雪崩の動画の一部は、当センターのホームページでご覧いただけます。

### 研究施設の紹介

当センターでは、平成12年度から新潟県糸魚川市柵口地区において、雪崩対策研究のための雪崩の動画撮影および気象観測を実施しています。積雪期を前に、動画撮影用カメラの増設と老朽化した機器の更新作業を終えました。観測データは、雪崩の規模推定や雪崩発生危険度評価手法の研究に活用していきます。写真は、動画撮影用カメラの映像です。なお、過年度に撮影した雪崩の動画の一部は、当センターのホームページでご覧いただけます。



### ニュートンのリンゴの木

写真は、冬囲いされた11月6日現在のりんごの木の状況です。平成28年に実施した樹木医による樹木の骨格剪定により、樹の勢いが増したように感じられます。来年の春には、たくさんの花が咲くことを期待しています。



発行：国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター  
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8



TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: <http://www.pwri.go.jp>  
掲載内容は、現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。